

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域社会との連携を主とし、積極的な活動の参加に努める事を運営理念にあげている。	○	●2ヶ月に一度の運営推進委員会を開催し、協力を呼びかけている。 ●地域の方へ認知症とそのケアの知識を理解してもらおう活動を行なっている。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月に一度の全体ミーティング及び月に一度のGHミーティングの唱和で周知している。各自理念に基づいた自己目標を設定し、毎月評価をし、介護技術の向上に取り組んでいる。		各職員が理念に基づいた自己目標に対する評価を行い、管理者は必ず意見を記入しフィードバックを行なってくる。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入り口には運営理念を掲示し、来客、家族、職員が常に目に付くようにしている。		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	外出で隣近所の方と会ったときは職員全員が明るい挨拶を心がけている。運営推進委員会開催時には地域の方が来られるが日常的な付き合いはない。	○	地域の方々の参加ができる行事の企画を行ないたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ふれあいサロンへの参加を行なっている。	○	地域の活動に声をかけていただいたが、勤務者数の関係で参加できなかった。今後予定をたてて参加していきたい。

敦賀ケアセンターかくた グループホーム「はるか」

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>運営推進委員会で、認知症の初期症状について説明をおこなった。</p>	○	<p>認知症専門の施設であるため、認知症に関する啓蒙活動を行ないたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>介護目標を個別にたて、月初めに各自が評価を行なっている。反省点について各自が改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>活発に意見交換がなされている。その意見をサービスの向上に役立っている。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進委員会への参加はあるが、それ以外の交流はない。</p>	○	<p>敦賀市主催の脳の健康教室を開催する予定がある。市町村担当者との連絡を密にしていきたい。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>資料による制度についての学習回を行なっている。今のところ利用者に必要な性を感じていない。</p>	○	<p>運営推進委員会などの議題にして取り組んでいきたい。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>昨年の厚生省の監査の際、虐待防止委員会の発足について指導を受けた。それに従い改善をおこなった。ミーティングにおいて他施設で起きた事例について学習する機会をもった。</p>	○	<p>職員の研修を継続して実施し、虐待防止の徹底に取り組みたい。</p>

敦賀ケアセンターかくた グループホーム「はるか」

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に説明を行い、疑問点に関してはいつでも受け入れ、説明をおこない解決に努めている。</p>	○	<p>今後も利用者、家族等の不安、疑問点に対し、誠意をもって対応していきたい。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>外部評価をうけ、公表している。</p>		
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●毎月利用者の状況報告書を作成し、家族に郵送している。 ●家族の来所を積極的に受け入れている。 ●事故発生時には家族との連絡をとるようにしている。 	○	<p>状況報告書の内容の充実をはかり、家族の知りたい情報を提供していきたい。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会を実施し、家族との意見交換を行なっている。日常的に家族からの意見は取り入れている。</p>		
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に一度のGHミーティングで職員全員が意見を発表する機会を設けている。</p>		
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員の体調不良で勤務者数の確保が出来ないこともあった。利用者の急変時には職員が付き添い受診することができた。</p>	○	<p>勤務調整を図り、日中の勤務の充実をはかりたい。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は最小限におさえた。利用者にも変動がなく馴染みの関係づくりは出来ている。</p>		

敦賀ケアセンターかくた グループホーム「はるか」

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>月に一度のGHミーティングのあと介護技術・認知症に関する学習会を講師を招き行なっている。 接遇、レクレーション等の研修を他部所と合同で行っている。</p>	<p>○</p> <p>職員一人一人の意識を改善し介護の質の向上につなげたい。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設の同業者との関わりはあるが、交流する機会を作りネットワーク作りに役立てるまでには達していない。</p>	<p>○</p> <p>連絡協議会等に参加して介護上の問題点への対処方法を学習し、介護の質の向上に役立てたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>上司との相談で改善されることもある。 常々職員の業務上の不満点を聞き、それに伴うストレスを軽減するための工夫をしている。</p>	<p>○</p> <p>定期的に相談する場を設けている。働きやすい職場になるようにしたい。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>資格取得に対する勉強会を開催している。 学習内容がまだ業務に反映されていない。</p>	<p>○</p> <p>学習内容を現場につなげていくような指導を心がけたい。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>この一年以上新規の入所がないため行っていないが、今後このような場面では信頼関係を築く努力をしたい</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>この一年以上新規の入所がないため行っていない。家族会などで相談を聞き、受け止める努力をしたい。</p>	

敦賀ケアセンターかくた グループホーム「はるか」

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている			
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学はいつでも受け入れているが、一年以上利用者に変動がないため実施していない。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	理想ではあるが、利用者の介護度・認知度が高いのが現状で支えあう関係が築きにくい。	○	職員数にも余裕を持ち、ゆったりと関わり喜怒哀楽を共有していきたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の来所がととても多く、話をする機会も多い。一緒に行事にも参加してもらっている。	○	利用者を支える一番大切なものが家族であるという考えをもとに協力してもらえる環境作りをしていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	GH内でも利用者と家族が過ごす時間を大切にしながら、家族を通じた人間関係をよりよくすることで、利用者からの信頼につなげている。	○	利用者との時間を大切にし、認知症の本人に代わり第三者として上手く関わっていきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族との交流を大切にしている。家族への状況報告書も家族が来所しやすくなるように工夫している。個別訪問により本人のなじみの所へ行っている。	○	個別に対応することに重点を置き、関係者に連絡し面会のチャンスを作ることを考えていきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	日中は出来るだけホールで過ごし、利用者同士一緒に過ごす時間を作っている。利用者の介護度が高いため、間で会話をつなぐ援助を心がけている。	○	利用者同士の会話が出来るチャンスを多く取れるように援助していきたい。 利用者同士で不足する分を職員で補っていく援助にしたい。

敦賀ケアセンターかくた グループホーム「はるか」

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	行なっていない。		
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	認知度が高いため希望・意向を話せる人は少ないため、家族の協力により情報を収集し本人の考えに近づける援助を行なっている。	○	少しでも本人の意思に近づける努力を重ね、その人らしい暮らしになる援助を行ないたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報収集は家族等の協力を得ている。少しでも多くの情報を得る努力をしている。	○	アセスメント用式にセンター方式を用い、職員全員で情報の整理・分析を行なっている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	現状を総合的に把握することが出来ている。	○	現状を総合的に把握し、様々な視点からより良い判断を行い、ケアにつなげていきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアカンファレンスを行い、介護計画を作成している。家族・職員の意見はととても活発で気付きに対し、ケアの改善をおこなっている。	○	職員に認知症に対する理解を深め、根拠のある介護計画の作成にしていきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアカンファレンスは利用者の状況が変化した時に行い、現状に即した計画を作成している。	○	利用者に適切な介護計画の作成が出来るよう心がけたい。

敦賀ケアセンターかくた グループホーム「はるか」

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	SOAPの記録を活用している。SOAPによりそれぞれの問題点が明らかにすることができた。	○	SOAPの記録の充実をはかるため、職員同士の意見交換を重視していきたい。
○				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	会社全体が介護に対し多方面のサービスをおこなっている。アドバイス、意見交換・急変時の対応など強力体制がある。	○	多様なサービスを提供できる会社であることを外部へもアピールしていきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	行なっていない。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ふれあいサロンの活用を行なっている。	○	社会への貢献活動などへの参加ができることを願っている。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進委員会への参加をしてもらっている。権利擁護に対しては今のところ対象がいない。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に一度のかかりつけ医による往診を行なう体制ができた。緊急時の協力も得られている。	○	今後もかかりつけ医との連携を大切にしていきたい。

敦賀ケアセンターかくた グループホーム「はるか」

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>利用者のうち2名が受診している。</p>	○	<p>周辺症状に対応できるケアを心がけているが、危険等が感じられた時には受診していきたい。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>会社内、デイサービスの看護師及び訪問看護の看護師との連携がある。</p>	○	<p>医療連携体制を6月より実施する。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>各医療機関によって、協働できているところとできないところがある。</p>	○	<p>サマリーを充実した内容にし、医療機関へも協働の働きかけを行なっていきたい。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>早い段階での話し合いができていないため、本人の意思が反映されない。家族とは話し合うことができています。</p>	○	<p>家族の意見を尊重しながら、本人の意思が第一に考えられるような終末期ケアを志したい。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>関係者全員が集まり、意見交換を何度も行なった。それぞれの意見もあったが医師・家族の協力により支援について考えることができた。</p>	○	<p>今後も継続した評価・検討を行い、チームとしてその人らしい終末期をむかえられるようにしたい。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>住み替えを行っていない。</p>	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の管理については徹底できている。プライバシーの確保について研修を行い相手の立場を考えるようにしている。	○ 利用者が何を考えているかを常に考えた介護の実践に努めていきたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	納得を得る努力は行なっているが、認知度の重度化のため利用者の希望を表出させることは出来ない。	○ 全てに関し、利用者に声をかけ、自己決定を求める支援を心がけたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしさを知るために家族等の協力を得、様々な情報を聞くことができている。その人らしさをもとめる上で職員にも迷いが生じてしまう。	○ その人らしさに少しでも近づける努力をおこないたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	介護度の重度化により理髪士の訪問サービスも行なっている。カットは利用者に合わせ、その人らしい髪型にしている。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備、片付けは利用者の重度化により出来ないことが多くなった。全員での食事を心がけ、笑顔がみられるよう努力している。	○ 環境等いろいろなことで食事を楽しむための援助を心がけたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲酒等好まれる方はいない。おやつは利用者の多くに体重増加等がみられ、医師からの制限指示がでたため職員が管理している。	○ 本人の好きなものを好きなだけ食べていただけるとよいと思う。

敦賀ケアセンターかくた グループホーム「はるか」

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	紙パンツの利用者は増えている。トイレへの誘導は継続し、排泄パターンをさぐることで失禁を減らす努力をしている。	○	個別に対応できるよう利用者の担当を決め、排泄に問題のある人には取り組みをおこなっていきたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	月・水・金の週3回の入浴で、職員の都合が優先されている。入浴順で本人の希望は聴いている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	横で添い寝をしたり、眠るまで付き添って安心している。夜間の睡眠不足時にはソファで休息を取ってもらっている。	○	その人その人の睡眠パターンを把握・分析し適切な対処を行なっていきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活暦等は収集できている。それを生かした声かけを行なっているが出来る人は少ない。一人に関しては俳句・塗り絵などを楽しんでいる。	○	役割となるために習慣づけが出来る援助をしたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族との話し合いにより所持するかどうかを決め、所持している人には職員が支援している。	○	各自が好きなものを購入できるよう援助したい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候の良い日には出来るだけ散歩・ドライブを楽しんでいる。季節ごとの行事にも外出を加え楽しんでいる。	○	どんどん外へ出て季節を感じ、体力維持につなげていきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	毎月の行事企画として花見・遠足等を企画し、家族にも参加してもらっている。	○	今後も家族への声かけを継続していく。

敦賀ケアセンターかくた グループホーム「はるか」

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者からの要望で電話をかけたが家族の負担になることが多かった。なかなか家族の協力が得られない。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族の訪問は大変多い。協力も多い。共に利用者本人のケアを考えられる関係が出来ている。	○	今後も家族の来所をどんどん受け入れ、家族と過ごす時間をたいせつに出来る援助をおこないたい。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	厚生労働省の監査によるアドバイスに取り組んでいる。	○	今後も取り組んでいきたい。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	2階の交通量の多い道に面しており、危険防止のために施錠している。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	転倒・骨折等の大きな事故につながらないよう情報を共有し、職員全体で気をつけている。	○	今後も大きな事故を防ぐ方法を職員全員で学んでいきたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	毒性のあるものは利用者の手の届かないところに置いている。	○	今後も注意深く保管・管理に努めたい。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員全員が事故防止に前向きに取り組んでいる。	○	事故0が理想だが、大きな事故を防ぐことを重要視したい。

敦賀ケアセンターかくた グループホーム「はるか」

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	連絡体制を把握し、看護師より対応の指導をうけている。全体での訓練・研修を行っている。	○	今後も継続的に行なっていきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	行なっていない。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	アクシデントや異変については必ず文書にて報告し、全体が周知できるようにしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	変化に気付いたときはバイタルを測定し、直ちに看護師に報告し指示を受けている。	○	言葉で体調変化を話すことが出来ない認知症高齢者の変化に気付くことが出来るケアを行いたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を個人ファイルに入れ、注意事項を日報及び連絡ノートにて職員に周知させている。	○	薬についての学習の機会をもうけていきたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日ヨーグルトを昼食に出している。水分摂取量をチェックし少ないときは工夫をおこなっている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯科衛生士による口腔ケアの指導を受け職員の口腔ケアに関する意識の改善が出来た。口腔内の清潔保持を心がけている。	○	継続していきたい。

敦賀ケアセンターかくた グループホーム「はるか」

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量及び食事の摂取量は毎日個人ファイルに記入している。不足している場合は声かけ等工夫をしている。	○	薬の服用に合わせた援助がしたい。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	外部からの持込を予防するため、手洗いの徹底を行なっている。掃除はハイターを使用し除菌を行なっている。	○	
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は毎日購入し、使い切るようにしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花などを飾り出入りには気を配っている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	臭いのない清潔な空間を保持し季節に合わせた飾りつけを利用者と共に行なっている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室での時間を大切に援助している。ホールでは他利用者との接点を大切に援助を行なっている。		

敦賀ケアセンターかくた グループホーム「はるか」

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	職員から写真をプレゼントをおこなっている。居室にも本人の意思が反映されるよう工夫をおこなっている。家族の協力はなかなか得られない。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気を行なっている。臭いに対しても消毒・消臭剤を使用し職員全員が心がけている。	○	
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に気を配ったバリアフリーの設計になっている。	○	
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	公文学習を取り入れ認知症の進行を抑える努力を行なっている。職員の対応が異なることがあり、利用者の習慣づけを妨げている。	○	職員への情報の周知を徹底し、介護目標にそったチームケアが出来るようにしていきたい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物がガラス張りになっており窓越しに外の景色がよく見え、前を通る方々と交流ができています。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

敦賀ケアセンターかくた グループホーム「はるか」

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

2階にあり見晴らしがよく、桜・つつじ等が見え季節を感じることができる。食事は好みを反映し、温かいものは温かく、冷たいものは冷たくして提供している。歯科衛生士の協力があり、口腔ケアが行き届いている。今年度より職員の研修をGH独自で行い、技術向上に取り組んでいる。